

7月5週目掲示板の言葉です。

今回の言葉は、オリンピックロンドン大会(1908年)中の日曜日、礼拝の為にセントポール大寺院に集まった選手を前に、主教が述べた戒めの言葉でした。

クーベルタンは、この言葉に感動し引用したといわれています。五輪憲章には、肉体と意志と精神のすべての資質を高め、結合させる生き方の哲学。

人間の尊厳の保持に重きを置く平和な社会の推進を目指すことにスポーツを役立たせる。

オリンピック憲章の定める権利および自由は、いかなる種類の差別も受けることなく、確実に享受される等が明示されています。

スポーツの起源は、遊びであり、本来の意味は、気分転換にあります。

遊びの特徴は、経済的な目的を持たず、体の大きな方が自分の力を抑制して小さい方に合わせ、互いに役割を交代しながら競い合い、体を同調させプロセスを楽しむ。そして終われば、お互いの健闘を称えあう。その中で、ルールが自然に立ち上がりました。

一緒に興じたことにより、信頼できる仲間となる。観戦者もこの同調の輪に巻き込み、社会を和ませ新たな絆を作る事に貢献したと思います。

パリ五輪は、どういう風になるでしょう？

〈言葉のチョイス解説〉「なまくら坊主」